

「地盤から見た“東日本大震災” シンポジウム」開催のご案内

<開催にあたって>

昨年3月11日に発生したマグニチュード9.0という日本有史以来最大の地震である“東北地方太平洋沖地震”が発生してから既に一年以上が経過いたしました。今まだ、行方不明の方が居られるとともに、被災地の復旧と復興はまだまだ見えてこないというところでもあります。また、この一年、首都圏直下型地震、東海・東南海・南海三連動地震による地震動と津波高さが想定せれる中、地盤の液状化、大規模深層崩壊、宅地地盤の変動など地盤の課題に向けた国民の関心は更に高まっています。宅地地盤の地質調査に関しては、日弁連も4月に提言書を出し、地質調査の義務化を国に要望しています。これら一連の流れの中で、今後は地質調査が有効に活用されることになると思われます。

地質調査業界では、これまでも日本の国土の脆弱性をベースに様々な地質調査に携わる中で地質・土質に関わる専門知識と技術、経験を駆使し、日本の社会資本の構築、防災、地盤環境に取り組んでまいりました。特にこれまでも、阪神淡路大震災、中越地震等の災害復旧および復興に、業界一丸となって対応してまいりました。東日本大震災からの復旧、復興においても、われわれが有する地盤に関する技術、経験を生かして、一日も早い復旧・復興を成し遂げるために全力で対応する決意であります。

当連合会では、一般社団法人日本応用地質学会の全面的な協力を得て、共催で昨年の7月に報告会を開催させていただきました。今回のシンポジウムは、その時にお約束した一歩踏む込んだ提言を行うことを目的に企画したものであります。

地質調査業界では、各方面のご協力を得ながら中長期的なスパンで研究・研鑽を重ねてまいる所存です。今後とも、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人全国地質調査業協会連合会
会長 成田 賢

<開催要領>

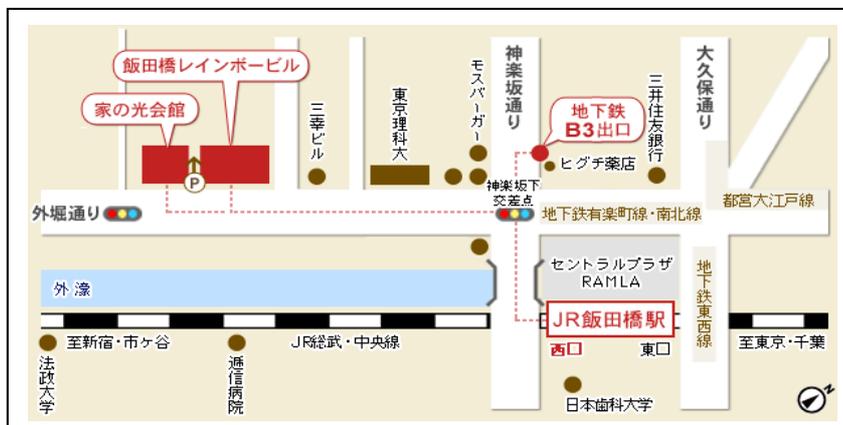
共 催：一般社団法人全国地質調査業協会連合会 / 一般社団法人日本応用地質学会

協 力：独立行政法人土木研究所、独立行政法人海洋研究開発機構

開催日時：平成24年7月13日（金）10:00～16:30（受付開始9:30）

開催場所：飯田橋レイナービル 7階大会議室

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11 tel:03-3260-4791



JR 総武線飯田橋駅西口または、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅の神楽坂下 B3 出口より徒歩約 5 分

参加費：無料

*テキストについて

テキストは、講習会開催前（予定：7月6日頃までに）に全地連のホームページで公開いたします。

募集期間：平成24年6月8日～6月29日（定員になり次第、締切いたします。）

定員：200名（先着順）

申込方法：別紙「参加申込書」による。

CPD 制度について：本シンポジウムは、ジオ・スクーリングネットを運営・管理する“土質・地質技術者生涯学習協議会”が開催を確認しており、CPD に加点（5点）されます。

<プログラム>

9:30～ 受付開始

10:00～10:10 開会挨拶 成田 賢（（社）全国地質調査業協会連合会 会長）

第1部 基調講演

10:10～11:10 基調講演1 「応用地質学的に見た3.11大震災と予期すべき西日本の地震災害」
千木良 雅弘（（社）日本応用地質学会会長 / 震災特別プロジェクト会長）

11:10～12:10 基調講演2 「東北地方太平洋沖地震の実像と今後に向けての提言」
金田 義行（（独）海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクトリーダー）

第2部 シンポジウム

13:10～13:20 シンポジウムの開催について

コーディネーター：中筋 章人（日本応用地質学会震災特別プロジェクト幹事長）

13:20～13:50 話題提供1 「3.11震災による仙台市緑ヶ丘地すべり対策工の変状」
村上 隆（（社）日本応用地質学会 東北支部）

13:50～14:20 話題提供2 「液状化調査における地質調査の重要性」
稲崎 富士（（独）土木研究所 地質・地盤研究グループ 特命事項担当上席研究員）

14:20～14:50 話題提供3 「今後の地震災害にそなえるための地盤情報の有効活用」
秋山 泰久（（社）全国地質調査業協会連合会 情報化委員会委員長）

14:50～15:10 質疑応答

15:10～15:25 休憩

15:25～15:55 話題提供4 「新しい資格制度の創設について」
日下部先生（公益社団法人地盤工学会）

15:55～16:20 総合討論

16:20～16:30 閉会挨拶 脇坂 安彦（（社）日本応用地質学会副会長）

「地盤から見た“東日本大震災” シンポジウム」参加申込書

<お申込みに当たって>

1. お申込方法

以下の参加申込書に必要事項をご記入の上、全地連事務局までファックスでお申し込み下さい。

(ファックス番号：03 - 3518 - 8876)

本参加申込書でお申し込みいただけるのは、1名様のみとなります。

定員(200名)になり次第、締め切らせていただきます。

2. お申込後のご連絡

お申込み受付後、参加者の方には受講証をファックスで送信させていただきます。

(本通の下段にある受講証の受講 No に番号を付記して返信します。)

<参加申込書>

送信先 FAX 番号：03 - 3518 - 8876 全地連 事務局宛

「地盤から見た“東日本大震災” シンポジウム」に参加申込みいたします。

平成24年6月 日

氏 名	様		
所 属 先			
住 所	〒		
電話番号		FAX 番号	

主催者記入欄(以下には、記入されないようご注意ください。)

参加お申し込みいただきました方へ

<参加受付結果>

1. 参加を受付いたしました。本通が受講証となります。

会場に持参していただき、受付にご提示下さい。

地盤から見た“東日本大震災” シンポジウム 受講証

受講 No

*テキストは、7月6日までに全地連のホームページで公開いたしますので、ダウンロードしてご持参下さい。URL は、<http://www.zenchioren.or.jp/>

2. 定員となりました。

誠に申し訳ございませんが、参加受付できませんでしたのでご連絡いたします。

<お問い合わせ先> 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3階

電話：03 - 3518 - 8873 FAX：03 - 3518 - 8876

(社)全国地質調査業協会連合会